

★★★7月は《河川愛護月間》です★★★

大野小学校4年生の皆さんと姫川水生生物調査を実施しました。

水生生物調査は、国土交通省の全国的な取り組みとして、子供たちに川の生き物から水質を判定してもらうとともに、調査を通じて川に親しみ、川の環境に関心を持っていただくものです。

国土交通省高田河川国道事務所では、毎年、地元小学生とともに関川、姫川で水生生物調査を行っています。

今回は、糸魚川市立大野小学校4年生の皆さんと姫川で水生生物調査を実施しました。

1 実施日

平成25年7月11(木) 9:00~10:30

2 実施内容(詳細は付属資料を参照)

①簡易水質測定器(パックテスト)を使用した水質(pH、COD)調査

②川の生き物を採取し、生き物から水質を判定する水生生物調査

3 実施状況



パックテストの様子



水生生物調査の様子

【配布先】

上越記者クラブ

【問合せ先】

国土交通省 北陸地方整備局 高田河川国道事務所
副所長(河川) 高橋 (内線 204)
河川管理課長 小沼 (内線 331)
電話 025-523-3136 (代表)
電話 025-521-4550 (直通)

～川の生き物から水質を知ろう～ 平成25年度 姫川水生生物調査

- 実施日時：平成25年 7月11日（木） 午前9時00分～10時30分
- 実施場所：糸魚川市大野地先 姫川左岸濁澄川合流点下流
- 参加者数：糸魚川市立大野小学校 4年生 12名（+先生2名）
- 実施概要：パックテストを用いてpHとCODを調べました。
また、姫川にすむ川の生き物を採集し、生き物の種類から姫川の水質を判定しました。
- 結果概要：パックテストでは、前日の降雨の濁りの影響などから、水の汚れを示すCODは4～8以上と好ましくない結果となりましたが、水生生物調査ではきれいな水に生息する「カワゲラ類、トビケラ類、カゲロウ類、ヘビトンボ」などが確認されました。



班に分かれて調査説明を聞く子供たち



全員での集合写真

平成25年度 姫川水生生物調査の実施状況

●パックテストによる水質判定



●びくのぞきを用いた生物採集



●石おこしによる生物採集



●タモ網による生物採集（職員が支援）



●冷たい水を飲んで休憩



●生き物観察



平成25年度 姫川水生生物調査の結果

1. パックテスト結果

- ①pH : 6.5~7.5
- ②COD : 4~8以上

※班により判定値が異なる。

2. 水生生物調査結果

- 水生生物調査では、カワゲラ類、トビケラ類、カゲロウ類、ヘビトンボなどのきれいな水にすむ生き物が確認されました。



採集したカゲロウ類とヘビトンボ



採集したルリヨシノボリ

水質の目安となる生物				その他 採集した生物
きれいな水	少しきたない水	きたない水	大変きたない水	
アミカ	イシマキガイ	イソコツブムシ	アメリカザリガニ	ルリヨシノボリ
ウズムシ	オオシマトビケラ	タイコウチ	エラミミズ	その他トビケラ類
カワゲラ	○ カワニナ	タニシ	サカマキガイ	その他カゲロウ類
サワガニ	ゲンジボタル	ニホンドロソコエビ	セスジユスリカ	
ナガレトビケラ	○ コオニヤンマ	ヒル	チョウバエ	
ヒラタカゲロウ	○ コガタシマトビケラ	ミズカマキリ	—	
ブユ	スジエビ	ミズムシ	—	
ヘビトンボ	○ ヒラタドロムシ	—	—	
ヤマトビケラ	ヤマトシジミ	—	—	

※カワゲラ類、トビケラ類、カゲロウ類は現地にて観察判定したもの。正式には顕微鏡にて判定する必要がある。